

授業概要

教育心理学の知識を学び、教育に関する見方を広げると同時に実際の教育現場で生かし活用することができるようにすることを目的とする。本講義では教育心理学の意義・目的、内容・領域について概観すると同時に、教育に関わる、発達の心理、教師の心理、授業の展開、学級集団の特性、生徒と教師の関係、学校・家庭・地域の連携について学ぶ。

授業計画

第1回	教育心理学とは
第2回	発達と教育の関連性
第3回	発達の諸相(1)：子どもの思考の発達
第4回	発達の諸相(2)：①発達理論と教育 ②自己・パーソナリティの発達
第5回	教師の特性：①教師の学校生活 ②教師の職能発達 ③教授展開能力の発達
第6回	授業の展開(1)：①生徒の求める先生 ②生徒のやる気と動機づけ
第7回	授業の展開(2)：生徒の動機づけを高めるために
第8回	集団の特性と指導(1)：①学級集団の特性 ②学級集団の機能
第9回	集団の特性と指導(2)：①教師のリーダーシップ ②リーダーシップ理論とクラス経営
第10回	学級集団の理解と指導(1)：①児童・生徒の学級適応と教師の行動②児童・生徒の認知する教師
第11回	学級集団の理解と指導(2)：①いじめの現状と背景 ②いじめに対する対策と学級経営
第12回	教師の動機づけ、児童・生徒の動機づけと学校の活性化
第13回	教室の場におけるカウンセリング：教室で生かすカウンセリングマインド
第14回	学校・家庭・地域連携によるソーシャルスクールとその必要性
第15回	教師としての心構え：影響を与える立場としての心構え、ストレスへの対応と精神保健
第16回	定期試験

到達目標

- ①教育心理学の用語や理論を用いて学習指導や学級経営について理解し、説明することができる。
- ②教育に関連する問題に興味を持ち、教育心理学の知識を用いて分析検討できる。

履修上の注意

- ①私語などは慎むこと。
- ②毎回出席を取るので休まないこと。
- ③授業には積極的に参加すること。授業中は質問していくので積極的に発言するように心掛けること。
- ④内容に応じて、小テストを実施することがある。

予習復習

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。また、各授業の中で分からないことがある場合はそのまましておかず、質問して理解を図るように努めること。授業の内容によっては、予習・復習を兼ねてレポートを課すことがある。

評価方法

レポート提出、平常点(授業の中で行う小テスト)、筆記試験により合わせて総合的に評価する。

テキスト

鈴木康平・山内隆久 2007 教育心理学 北大路書房